

スチュワードシップ・セミナー

スチュワードシップ・コード再改訂と 年金資金の役割

2020年12月3日（木） 13：30～

主催： 公益財団法人 年金シニアプラン総合研究機構
株式会社日本取引所グループ
株式会社 I C J

後援： 金融庁

運営協力： ジャパン・スチュワードシップ・イニシアティブ（J S I）

プログラム

応援メッセージ 古澤知之 金融庁企画市場局長

開会 吉野隆之 年金シニアプラン総合研究機構専務理事

第Ⅰ部 「スチュワードシップ・コード再改訂と機関投資家」

基調講演 「スチュワードシップ・コード再改訂の経緯と狙い」

浜田 宰 金融庁企画市場局企業開示課企業統治改革推進管理官

特別講演 「企業年金とスチュワードシップ・コード」

若松 彰 厚生労働省年金局企業年金・個人年金課
企業年金資産運用専門官

記念講演 「ダブルコードの進展と社会の活性化

－精緻で深部にわたる開示とエンゲージメントの進展」

北川哲雄 ジャパン・スチュワードシップ・イニシアティブ代表
青山学院大学名誉教授東京都立大学特任教授

第Ⅱ部 「スチュワードシップ活動の実効的な推進に向けて」

課題提起 「スマートフォーマットと年金のスチュワードシップ活動」

小野塚恵美 カタリスト投資顧問取締役副社長COO
ジャパン・スチュワードシップ・イニシアティブ運営委員長

パネルディスカッション

パネリスト **新井邦宗** 野村総合研究所財務部資金課長
石井博子 第一生命保険責任投資推進部長
寺沢 徹 アセットマネジメントOne責任投資グループ長
三橋和之 三菱UFJ信託銀行資産運用部副部長兼フェロー
矢部 信 年金シニアプラン総合研究機構特任研究員

モデレーター **木村祐基** スチュワードシップ研究会代表理事

閉会 **松尾琢己** 日本取引所グループ総合企画部企画統括役

登壇者略歴

古澤 知之 金融庁企画市場局長

86年大蔵省入省。財務省国際局為替市場課長などを経て、2010年金融庁総務企画局企業開示課長、11年市場課長、13年政策課長、15年7月監督局審議官、16年6月より総務企画局（現企画市場局）審議官、18年7月より金融庁企画市場局審議官（企業開示担当）、19年7月より金融庁証券取引等監視委員会事務局長、20年7月より現職。

浜田 宰 金融庁企画市場局企業開示課 企業統治改革推進管理官

トヨタ自動車株式会社勤務を経て、2008年に長島・大野・常松法律事務所へ入所。2014年より2016年まで、金融庁総務企画局（現企画市場局）企業開示課専門官として、開示規制の改正やコーポレートガバナンス・コードの策定等に関する業務に従事。2016年4月にDT弁護士法人へ移籍し、M&A、不祥事対応、組織再編など、企業法務全般について法的サービスを提供。2020年3月より現職。弁護士（日本・ニューヨーク州）。

若松 彰

厚生労働省

年金局企業年金・個人年金課

企業年金資産運用専門官

1983年安田信託銀行（現みずほ信託銀行）入行。個人営業、法人営業、企業年金営業・業務企画等に従事。2002年よりみずほ年金研究所を兼務（2013年に転籍）、企業年金制度設計コンサルティング、年金ALMコンサルティング、みずほ年金レポート編集等に携わる。2019年4月より現職。

北川 哲雄

ジャパン・スチュワードシップ・イニシアティブ代表

青山学院大学 名誉教授

東京都立大学 特任教授

シンクタンク研究員、運用機関調査部長等を経て2005年青山学院大学大学院国際マネジメント研究科教授、2019年より現職。主な社会的活動として環境省「ファイナンス・アワード・ジャパン」選定委員会委員長、経済産業省・環境省「サーキュラー・エコミー及びプラスチック資源循環ファイナンス研究会」座長を務める。

小野塚恵美 カタリスト投資顧問取締役副社長COO ジャパン・スチュワードシップ・イニシアティブ運営委員長

1998年JPモルガン銀行入行。マーケットリスク管理業務に従事。2000年よりゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社において多岐にわたる資産運用業務に従事。2016年からは日本におけるスチュワードシップ責任推進の統括としてESG（環境・社会・ガバナンス）リサーチ、企業との対話を年間200社以上実施。2020年4月カタリスト投資顧問株式会社入社。2020年5月より現職。ジャパン・スチュワードシップ・イニシアティブ（JSI）運営委員会委員長。Sustainability Accounting Standard Board (SASB) FSA Network Tokyo Chapter「企業は投資家とどう対話すべきか」（単著、招待論文）企業会計 2019年11月号「サステナブルファイナンス原論」（共訳）きんざい

新井 邦宗 野村総合研究所 財務部資金課長

2002年に当社に入社し、管理会計などの予算業務に従事。その後、連結決算、決算開示業務や資金業務の傍ら、年金業務を担当。年金業務において、政策アセットミックスの見直し、運用商品の選定、制度改定の財務インパクトのコントロールや年金制度の財務戦略への活用に取り組む。

石井博子 第一生命保険 責任投資推進部長

1993年第一生命保険入社。経営調査部（現第一生命経済研究所）、米国ピーターソン国際経済研究所でマクロ経済調査業務を経験した他、第一生命総合審査部にて13年間、国内・海外企業およびソブリンのクレジットアナリストとして従事。また、債券部事業債グループにて国内社債運用を2年間、株式部にてプライベートエクイティ、ヘッジファンドなどオルタナティブ運用を2年間等、運用フロント業務経験を経て、2019年より責任投資推進部長として企業との対話、議決権行使業務に従事。

寺沢 徹 アセットマネジメントOne 責任投資グループ長

1988年4月富士銀行入行、同年10月より2013年まで、みずほコーポレート銀行、みずほ銀行を通じて金利デリバティブや外国為替のトレーディング、市場企画、証券化商品などのクレジット投資、総合資金部ALM総括チーム次長（Asset Liability Management）など市場部門業務に従事。2013年より、みずほ銀行決済営業部証券決済業務室長（カस्टディ業務）。2015年より、みずほ投信投資顧問運用企画部長を経て、2016年10月アセットマネジメントOne発足時より現職（責任投資グループ長）

三橋和之 三菱UFJ信託銀行資産運用部副部長兼フェロー

1993年三菱信託銀行入社（現・三菱UFJ信託銀行）。1994年より年金運用部にて企業年金のアセットアロケーション管理。1999年より資産運用部にて国内株式のファンドマネージャー。2017年5月に資産運用部内にESG推進室を新設、室長として、議決権行使・ESG投資の推進を統括。投資先企業とのエンゲージメントを通じたスチュワードシップ活動の高度化を推進。2019年より副部長。

矢部 信 年金シニアプラン総合研究機構特任研究員

1977年日本債券信用銀行（現あおぞら銀行）に入行し、法人営業のほか、債券運用を中心に有価証券投資業務などの証券業務に携わる。1999年より東京海上アセットマネジメント投信に転じ、企業年金、公的年金、金融法人等に対するクライアントサービス業務に従事。2014年に厚生労働省年金局企業年金・個人年金課/企業年金資産運用専門官に採用され、DC・DBの法令等の改正に、実務経験者として参画。2019年4月より現職。

木村 祐基 スチュワードシップ研究会代表理事

野村総合研究所にて証券アナリスト業務に従事後、野村アセットマネジメントにて企業調査部長などを歴任。その後、企業年金連合会年金運用部コーポレート・ガバナンス担当部長。金融庁総務企画局企業開示課専門官を経て。2014年10月、一般社団法人スチュワードシップ研究会設立に伴い代表理事に就任（現職）。2017年10月、一般社団法人機関投資家協働対話フォーラム設立に伴い、代表理事・理事長に就任（現職）。